

帆船海王丸保存活用に向けての実行委員会

日時：令和8年5月22日（金）9：30～11：00

場所：富山県民会館4階 401号室

1 開 会

2 出席者紹介

3 議 事

（1）実行委員会会則（案）について

（2）帆船海王丸保存活用に向けての取組みについて

4 閉 会

【その他資料】

次第、出席者名簿、配席図

（参考1）寄附金募集リーフレット案

（参考2）富山高等専門学校連携イベントチラシ

帆船海王丸保存活用に向けての実行委員会 出席者名簿

役職	所 属 等	氏 名	(代理出席者等)
委員長	(公財)伏木富山港・海王丸財団 会長	蔵堀 祐一	
副委員長	射水市 副市長	磯部 賢	
	射水商工会議所 会頭	牧田 和樹	
委員	富山経済同友会 代表幹事	麦野 英順	欠 席
	富山県商工会議所連合会 会長	庵 栄伸	
	富山県商工会連合会 会長	宮本 光明	専務理事 山本 公生
	(公社)とやま観光推進機構 副会長	宮崎 一郎	
	射水市観光協会 専務理事	久々江 映子	欠 席
	(一社)日本旅行業協会富山県支部 支部長	中野 太郎	
	富山高等専門学校 校長	国枝 佳明	
	美しい富山湾クラブ 理事長	八嶋 浩久	
	(公社)射水青年会議所 副理事長	城川 昂之	欠 席
	越中祭青年会 副会長	五十嵐 友輔	

(順不同、敬称略)

帆船海王丸保存活用に向けての実行委員会 配席図

令和8年5月22日(金) 9:30～11:00
県民会館4階 401号室

ス ク リ ー ン																	
委員長		(公財)伏木富山港・海王丸財団 会長 蔵堀 祐一															
副委員長	射水商工会議所 会頭 牧田 和樹								副委員長	射水市 副市長 磯部 賢							
	委員	富山県商工会議所連合会 会長 庵 栄伸								委員	富山県商工会連合会 会長 宮本 光明 (代理) 専務理事 山本 公生						
		委員	(公社)とやま観光推進機構 副会長 宮崎 一郎								委員	(一社)日本旅行業協会富山 県支部 支部長 中野 太郎					
			委員	富山高等専門学校 校長 国枝 佳明								委員	美しい富山湾クラブ 理事長 八嶋 浩久				
				委員	越中祭青年会 副会長 五十嵐 友輔												
参事・課長 富山県土木部港湾課 竹島 靖		部長 富山県土木部 孝裕			常務理事 (公財)伏木富山港・海王丸財団 吉川 禎		常務理事 (公財)伏木富山港・海王丸財団 大藤 高広		部長 射水市都市整備部 山口 修		次長 射水市都市整備部 館下 徹						
事務局																	
事務局																	
報道関係者																	
フリー席(傍聴随行者等)																	

受付

出入口

実行委員会会則（案）

（名 称）

第1条 この会は、帆船海王丸保存活用に向けての実行委員会（仮称）（以下「実行委員会」という。）と称する。

（目 的）

第2条 実行委員会は、帆船海王丸が建造 100 周年を「生きた船」で迎え、その歴史を次世代に継承し、地域のシンボルとしての誇りと愛着を育むため、大規模修繕を契機にその魅力を再発信するとともに、新たなファンの獲得につなげるため、広報やイベントの実施、寄附金の募集等に関係者が一体的に取り組むことを目的とする。

（事 業）

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- （1） 広報やイベント、寄附金の募集等の企画及び運営に関すること
- （2） 関係機関及び団体との連絡調整等に関すること
- （3） その他目的を達成するために必要な事業に関すること

（構 成）

第4条 実行委員会は、委員長、副委員長、委員（以下「委員等」という。）で構成する。

- 2 委員長は、（公財）伏木富山港・海王丸財団会長をもって充てる。
- 3 副委員長は、委員長が指名する者をもって充てる。
- 4 委員は、別表に掲げる職にある者をもって充てる。
- 5 実行委員会に顧問及びその他委員長が必要と認める役職を置くことができる。

（委員等の職務）

第5条 委員長は、実行委員会を代表し、会務を総括する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき及び委員長が特定の行為につき委任したときは、あらかじめ委員長が定める順序により、その職務を代理する。
- 3 委員は、この会則に従い議事の審議をする。

（委員等の任期）

第6条 委員等の任期は3年とする。

- 2 実行委員会はその目的を達したときに解散する。

(委員等の報酬及び旅費)

第7条 実行委員会は、実行委員会の会議への出席にあたり、委員等へ報酬及び旅費を支給することができる。

2 委員等へ旅費は、富山県職員の例に準じて支給する。

(会 議)

第8条 会議は、委員等をもって構成する。

2 会議は、委員長が招集する。

3 会議の議事進行は、委員長又はあらかじめ委員長が指名する者が行う。

4 会議は、次に掲げる事項を審議し、決定する。

- (1) 会則の制定及び改廃に関する事
- (2) 広報やイベント、寄附金募集の企画及び運営に関する事
- (3) 事業計画及び事業報告に関する事
- (4) その他目的を達成するために必要な事項に関する事

(事務局)

第9条 実行委員会の事務を処理するため、公益財団法人伏木富山港・海王丸財団に事務局を置く。

2 事務局の組織及び運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

(補 則)

第10条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この会則は、令和8年〇月〇日から施行する。

別表（第4条関係）

役職	氏 名	所 属 等
顧問	新田 八朗	富山県知事
顧問	夏野 元志	射水市長
委員長	蔵堀 祐一	(公財)伏木富山港・海王丸財団 会長
副委員長	磯部 賢	射水市 副市長
副委員長	牧田 和樹	射水商工会議所 会頭
委員	麦野 英順	富山経済同友会 代表幹事
	庵 栄伸	富山県商工会議所連合会 会長
	宮本 光明	富山県商工会連合会 会長
	宮崎 一郎	(公社)とやま観光推進機構 副会長
	久々江 映子	射水市観光協会 専務理事
	中野 太郎	(一社)日本旅行業協会富山県支部 支部長
	国枝 佳明	富山高等専門学校 校長
	八嶋 浩久	美しい富山湾クラブ 理事長
	城川 昂之	(公社)射水青年会議所 副理事長
	五十嵐 友輔	越中祭青年会 副会長

帆船海王丸保存活用に向けての実行委員会 (第1回)

令和8年5月22日

海王丸の歴史

年月	主な出来事
昭和5年	建造（商船学校の練習船として59年間航海し、11,190名の船員を育てた。）
昭和57年	新湊市長が「練習帆船の誘致保存に関する陳情書」を運輸省、県選出国会議員へ提出
昭和58年	「海王丸を富山に呼ぶ県民の会」設立 （会長：富山経済同友会代表幹事、相談役：富山県知事）
昭和62年	県が「練習帆船海王丸保存活用基本計画書」を運輸省へ提出
平成元年	練習船として用途廃止 （財）帆船海王丸記念財団（県と大阪市共同出資）へ払い下げ
平成2年	（財）伏木富山港振興財団設立（県と新湊市（射水市）共同出資） <u>富山県での一般公開</u>
平成6年	海王丸パークでの恒久係留決定（大阪市が交代係留を辞退）
平成14年	（財）伏木富山港・海王丸財団設立（記念財団と振興財団を統合）
平成22年	帆船海王丸建造80周年・一般公開20周年記念事業実施
平成30年	ふね遺産（（公社）日本船舶海洋工学会）に認定 <u>累計乗船者数が200万人を突破</u>
令和2年	帆船海王丸一般公開30周年記念式典開催
令和7年	建造100周年を生きた船で迎えるため、『帆船海王丸大規模修繕実施方針』を決定



■帆船海王丸の概要

船種：4本マストバーク型帆船
 総トン数：2,238トン
 総帆数：29枚（2,050㎡：約1,245畳）
 定員：168名
 全長：97.05m
 型幅：12.95m
 メインマスト：46m（海面からの高さ）

海王丸の船体・設備の状況

① 受検関連工事箇所



船体内部骨材補修



船底外板補修等

② 帆装補修工事関連箇所



トップ台・ゲルン台更新

③ 木甲板腐食による影響箇所



木甲板腐食及び下部の鋼板腐食

実行委員会設立の目的 ※帆船海王丸大規模修繕実施方針より

帆船海王丸が建造100周年を『生きた船』で迎え、その歴史を次世代に継承し、地域のシンボルとしての誇りと愛着を育むため、大規模修繕を契機にその魅力を再発信するとともに、新たなファン獲得につなげる広報やイベントの実施、寄附金の募集に関係者が一体的に取り組むため設立

＜帆船海王丸大規模修繕の実施方針＞

- ・令和9年度に上架による定期検査を受検し、令和12年の建造100周年＋公開40周年は「生きた船」で迎える
- ・総帆展帆や一般公開・海洋教室等を安全に実施するため、船体や設備等の必要な修繕を実施

(参考) 大規模修繕の内容①

① 定期検査受検 【0.28億円】

定期検査の受検に必要な事前準備

(消火・保安対策、タンク給排水等)

② 入出渠、曳船 【3.78億円】

検査・修繕のためのドック入り

(係留設備の取外し・装着、係留ゲートの開閉

曳船、入渠、滞渠費用、保険等)

③ 外板等補修 【1.94億円】

船体外板の補修

※検査結果により増減の可能性有

(穴の開いている箇所、消耗の激しい箇所の修繕

錆打ち、防食アルミの更新、塗装)

④ 受検関連工事 【0.67億円】

タンク内の検査受検 (タンク内の清掃、補修、塗装)



(参考) 大規模修繕の内容②

⑤ 帆装補修 【3.67億円】

総帆展帆を安全に実施・継続する、帆装艀装
(マスト・ヤード等) を修繕
(トップ台・ゲルン台の更新、支柱ワイヤー類の更新)
※外観や総帆展帆実施に支障のない範囲で、材料や
修繕方法を検討し、経費節減に努める。



⑥ 空調装置等改修 【0.90億円】

一般公開や海洋教室を安全に実施・継続するため、
船内の空調装置一式を更新



⑦ 木甲板張替工事 【0.50億円】

木甲板は腐食の進行が激しい箇所を張替え



(参考) 大規模修繕の全体の修繕費用と負担

① 全体費用 概算で11.74億円 ※今後の物価上昇等により上振れする可能性あり

工事項目	概算(億円)	受検項目	内容
① 定期検査受検	0. 28	○	受検準備(消火・保安対策、タンク給排水等)
② 入出渠、曳船	3. 78	○	係留施設の開閉等事前準備、入出渠、滞渠費、曳船、保険等
③ 外板等補修	1. 94	○	錆打ち、防食アルミ新替、外板補修、塗装等
④ 受検関連工事	0. 67	○	タンク内清掃、補修、塗装等
⑤ 帆装補修	3. 67		マスト・ヤード等帆装艀装関係補修 ※総帆展帆継続のため不可避
⑥ 空調装置等改修	0. 90		老朽化対策(暑さ対策)、防災対策 ※一般公開及び海洋教室継続のため不可避
⑦ 木甲板張替工事	0. 50		老朽化対策(雨漏り・防水) ※応急対応が必要な一部分のみ
合 計	1 1. 7 4		

② 費用負担

- ・修繕は海王丸の所有者である(公財)伏木富山港・海王丸財団(以下、財団)が発注
- ・修繕費用は、富山県及び射水市の公的資金を充当
- ・今回行う大規模修繕工事に対応できない箇所(木甲板張替工事)については、財団が実施するクラウドファンディング等により寄附を募り、可能な範囲で修繕

（参考）大規模修繕実施スケジュール

	R8年度												R9年度										R10年度			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
①定期検査受検																				外板・タンク内検査				最終検査		
②入出渠、曳船																		・係留設備取り外し ・ゲート開放		曳航・入航			出渠・回航	・係留設備装着 ・ゲート閉		
③外板等補修																				外板補修準備	外板補修	塗装仕上				
④受験関連工事																					検査指摘事項等 補修工事					
⑤帆装補修																				支柱ワイヤー及び金具類の調達及び特殊加工						
⑥空調装置等改修																					空調装置更新工事					
⑦木甲板張替工事																							木甲板補修張替工事			

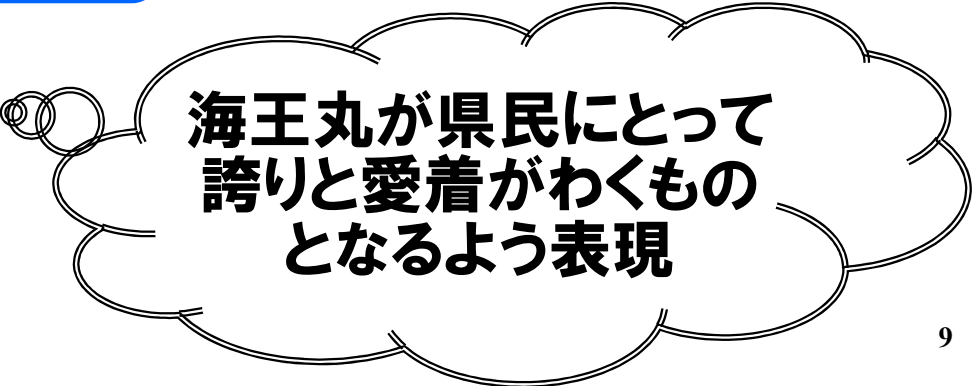
実行委員会の名称とスローガンの案

＼名 称／

帆船海王丸保存活用プロジェクト実行委員会

＼スローガン（キャッチコピー）／

みんなでつなぐ海王丸



海王丸が県民にとって
誇りと愛着がわくもの
となるよう表現

実行委員会の実施体制①

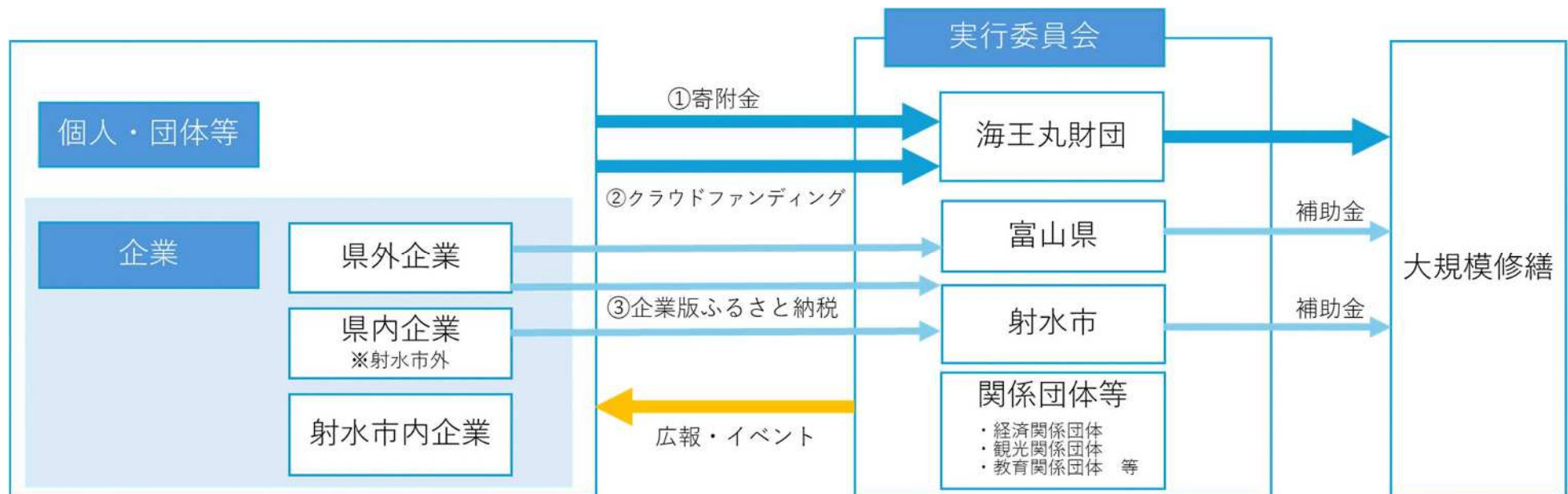
役 職	氏 名
顧 問	新田 八朗 富山県知事 夏野 元志 射水市長
委 員 長	蔵堀 祐一 (公財)伏木富山港・海王丸財団会長
副委員長	磯部 賢 射水市副市長 牧田 和樹 射水商工会議所会頭
委 員	麦野 英順 富山経済同友会代表幹事、庵 栄伸 県商工会議所連合会会長、 宮本 光明 県商工会連合会会長、宮崎一郎 (公社)とやま観光推進機構副会 長、久々江 映子 射水市観光協会専務理事、中野 太郎(一社)日本旅行業協 会富山県支部支部長、国枝 佳明富山高等専門学校校長、 八嶋 浩久 美しい富山湾クラブ理事長、城川 昂之(公社)射水青年会議所副 理事長、五十嵐 友輔 越中祭青年会副会長

実行委員会の実施体制②

(主な事業内容)

広報・啓発活動、関連イベントの企画、寄附金の募集

(事業スキーム)



イベント計画

① 主催イベント

- ・ 出港イベント、臨時展示会、工場見学会、おかえり海王丸イベントなど

② 高専との連携イベント

- ・ 富山高専と連携し講演会とワークショップの開催

③ 協賛イベント

- ・ 民間や他団体イベントでのチラシ配布・ポスター掲示協力、ブース出展
- ・ 財団既存イベント（ちびっ子天国、バレンタインウィーク等）や海洋教室等においてP R企画や寄附募集の広報を実施

広報計画

① 特設ウェブページ、SNSによる情報発信

- ・大規模修繕関連情報を一体的に発信（イベント情報のお知らせなど）

② 修繕過程の見える化

- ・修繕“密着”ドキュメント企画（修繕の作業風景を動画等で定期的公開）

③ 実行委員会を通じた情報発信協力依頼

- ・各種団体広報誌やHP、SNSへの掲載協力依頼
- ・新聞、メディア
- ・県包括連携協定企業への協力依頼
- ・射水市内の店舗等を中心にチラシ配布などPRの協力要請 など

寄附募集

① 直接の寄附

- ・ 振込や持込みによる寄附、募金箱の設置
(特典) 特設ホームページでの寄附者掲載、船内への銘板設置など

② クラウドファンディングによる寄附

- ・ 民間プラットフォームを通じて、全国から寄附を募集
(返礼品イメージ) 海王丸グッズなど

③ 企業版ふるさと納税制度を通じた寄附

※企業が富山県又は射水市に寄附を行った場合、法人関係税から税額控除する仕組み
(最大で寄附額の約9割が軽減される)

- ・ 自治体HPでの企業名の公表や表彰等を通じて地域貢献（文化・教育・観光）、CSR活動としてアピールできる。

寄附返礼品などのイメージ



海の貴婦人
帆船 **海王丸** 保存活用プロジェクト
みんなでつなぐ
海王丸

ご寄附募集中

海王丸は、商船学校の練習船として誕生した帆船です。昭和5年（1930年）2月14日に進水して以来、59年間に106万海里（地球約50周）を航海し11,190名もの海の若人を育てました。
海王丸パークではこの海王丸を現役当時の姿のまま公開しており、「海の貴婦人」とも称される美しい姿は、海王丸パークのシンボルとして親しまれています。

この帆船海王丸が、令和12年（2020年）の建造100周年の節目を「生きた船」として迎えられるように、令和9年度に定期検査と大規模修繕を実施することとしています。また、劣化が進んでいる木甲板等も、併せて修繕したいと考えています。

修繕につきましては、多額の費用を要することが見込まれることから、皆様から様々な形で寄附にご理解とご支援をいただき、このプロジェクトを成功させたいと考えております。ぜひ皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

お問い合わせ **帆船海王丸保存活用プロジェクト実行委員会**
TEL 0766-82-5181

実行委員会の事業スケジュール

	R8年度												R9年度												R10年度					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
実行委員会		第1回 (設立) ○												第2回 (活動実績・取組方針) ○												第3回 (成果報告) ○				
イベント																		出港イベント ○		展示会・ 工場見学会					おかえり海王丸 ○					
	←協賛イベントの募集→																													
広報		○	←「随時」 イベント情報や寄附情報のお知らせ →																											
		特設ページ開設、 SNSによる発信																		修繕"密着" ドキュメント企画										
寄附の募集	←寄附の募集（企業版ふるさと納税を含む）→																													
			←クラウドファンディング（1回目）→															←クラウドファンディング（2回目）→												

海王丸パークの魅力向上に向けた取り組み

※帆船海王丸大規模
修繕実施方針より

① イベントの積極的な受入れ

- ・ 海王丸パークの特色を活かし、各種イベント等での利活用を促進
(動線・ゾーニングの明確化、利用条件の柔軟化や手続の簡素化等検討)

② 官民連携による魅力向上

- ・ 新たなイベントでの活用等、アイディアの掘り起こし
- ・ 民間事業者による飲食・物販・体験コンテンツ等の導入検討



帆船海王丸 🚢 富山高専 コラボ企画 (第1回)

風で走る海王丸から未来の船へ

～日本海的环境と新しい海の技術を知る～

開催日時 令和8年6月6日(土) 13:00～受付
13:30～16:10開会
(希望者のみ 帆船海王丸デッキ上見学 ～17:00)
実施会場 海王丸パーク内 日本海交流センター研修室
募集人数 50名(定員に達し次第締切)



帆船海王丸



ウインドチャレンジャー



日本近海の海流

13:30～13:35 開会あいさつ

13:35～14:15 第1部【講演】
風を利用して走る海王丸 ～海王丸Ⅱの帆走性能～
國枝 佳明 (富山高等専門学校 校長)

14:15～15:00 第2部【講演】
船舶における風力利用
ウインドチャレンジャープロジェクトの取り組み
若林 陽一 (株式会社商船三井 ウインドチャレンジャーチーム チームマネージャー)

15:00～15:10 第3部【見学】
世界の帆船模型解説
大藤 高広 (公益財団法人伏木富山港・海王丸財団理事, 帆船海王丸船長)

15:20～16:05 第4部【講演】
日本海と富山湾～多様な環境がもたらす富山湾の魅力～
福留 研一 (富山高等専門学校 商船学科 准教授)

16:05～16:10 閉会あいさつ

16:20～17:00 第5部【見学】※希望者のみ
帆船海王丸 デッキ上見学
(帆船海王丸船長・航海士, 國枝佳明)



参加申し込み込フォーム

左のQRコードから必要事項を記入してお申し込みください。
応募締切は5月29日(金) 17時とさせていただきます。
お問い合わせ先: 富山高等専門学校 総務課
Email: somu-tanto@nc-toyama.ac.jp



富山高等専門学校



ホームページ



Instagram

帆船海王丸 富山高専 コラボ企画 (第1回)

風で走る海王丸から未来の船へ

～日本海的环境と新しい海の技術を知る～

<講師紹介>

國枝 佳明 氏

【講演題名】

風を利用して走る海王丸
～海王丸Ⅱの帆走性能～



《講演概要》

世界の大型帆船の中でも高い性能を誇る日本の帆船・海王丸Ⅱ。本セミナーでは、これまでの豊富な航海実績と実海域での実船実験に基づき、その優れた帆走性能や特徴を、具体例を交えて分かりやすく解説します。

國枝佳明 第1部 講演

富山高等専門学校 校長
平成19(2007)年 航海訓練所 練習船銀河丸船長
平成20(2008)年 航海訓練所 練習船海王丸船長
平成24(2012)年 航海訓練所 航海科長
平成26(2014)年 東京海洋大学教授
令和4(2022)年 富山高等専門学校 校長

若林 陽一 氏

【講演題名】

船舶における風力利用
ウインドチャレンジャープロジェクトの取り組み



《講演概要》

商船三井では、2009年より船舶の風力利用に取り組み、硬翼帆”ウインドチャレンジャー”の開発を行ってまいりました。これまで3隻の商船に搭載されているウインドチャレンジャーの設計コンセプトや特徴をご説明し、今後のプロジェクトの取り組みについてご紹介します。

若林陽一 第2部 講演

株式会社商船三井
技術・デジタル戦略本部 船舶技術ユニット
ウインドチャレンジャーチーム チームマネージャー
平成21(2009)年 東北大学大学院工学研究科 修了
平成21(2009)年 商船三井 入社 技術部に配属

大藤 高広 氏

【見学】

日本海交流センターの帆船模型解説
～世界の帆船・日本の帆船～



《講演概要》

日本海交流センターに展示されている以下の帆船について解説を行います。
・初代海王丸 & 海王丸Ⅱ
・エスメラルダ
・アメリカゴベスプッチ
・みらいへ(あこがれ) 他

大藤高広 第3部 見学

伏木富山港・海王丸財団 常務理事 帆船海王丸船長
平成16(2004)年 航海訓練所 練習船銀河Ⅱ船長
平成22(2010)年 航海訓練所 練習船日本丸船長
平成24(2012)年 航海訓練所 神戸分室長
平成26(2014)年 航海訓練所 運航部長
平成28(2016)年 (独)海技教育機構 教育訓練理事
令和元年(2019)年 現職

福留 研一 氏

【講演題名】

日本海と富山湾
～多様な環境がもたらす富山湾の魅力～



《講演概要》

広く日本海に接する富山湾は、日本海的环境からの影響も受ける面白い湾です。講演では日本海や富山湾の多様な環境について解説すると共に、富山高専の練習船「若潮丸」で取り組む富山湾の調査についてもご紹介します。

福留研一 第4部 講演

富山高等専門学校 商船学科 准教授
平成22(2010)年 博士(理学) 九州大学
平成22(2010)年 九州大学応用力学研究所 研究員
平成24(2012)年 日本海区水産研究所 研究員
平成28(2016)年 富山高等専門学校 講師
平成31(2019)年 富山高等専門学校 准教授

独立行政法人 国立高等専門学校機構 富山高等専門学校

・本郷キャンパス 〒939-8630 富山市本郷町13番地 TEL 076-493-5402
・射水キャンパス 〒933-0293 射水市海老江練合1番2 TEL 0766-86-5100

富山高等専門学校



ホームページ



Instagram